SDGs達成に向けた取組みチェックリス　新規　事業者名：社会福祉法人　慈光会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

基本項目記入数　25　　チャレンジ項目記入数　15

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		毎月の会議等で理念及び目標について共有しており、理念については施設内、パンフレット、法人ホームページにおいて公表している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		介護保険法をはじめ、関係法令順守の徹底について定期的に確認をしている。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		法人として法令を遵守し公正な取引に努め、全職員に向けてその重要性について、入職時のオリエンテーション及び年間計画の法定内研修にて説明している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		法人の組織図を作成し担当者・部署を明確化している。地域総合支援室を設立し、様々な取り組みを行っており、その輪が垣根を越えて、地域の学校や近隣住民に広がりを見せている。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		個人情報保護に関する誓約書において、業務上知り得た業務上の秘密等を保護する旨の誓約を入職時に徴取している。また退職時にも説明している。広報誌を定期的に発行しているが、使用する写真、イラスト等は著作権侵害の無いように有料のものや著作権フリーの素材サイトのものを利用している。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報管理責任者等を選任し、個人情報が不特定多数の者に触れられる事が無いように、書面での情報は鍵付きのキャビネット、電子情報はPCソフトの人事給与管理システムで保管し、鍵やパスワードは個人情報管理責任者のみ所持、管理している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		ご利用者へサービス満足度調査を行い、事業運営に活かす取り組みを実施している。取引業者との平等な関係を大切にしている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	地震の経験を踏まえ、BCPを策定し、年に2回の防災訓練を実施している。熊本地震時に避難所運営を行った経験を生かし、地域や学校への啓発活動をリーダーシップを持って行っている。福祉避難所の協定を結んおり、その役割を地域に発信している。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		各種ハラスメントの禁止について規程を作成している。また、職員の相談窓口担当者を明文化し、周知している。それらに関する研修会へも積極的に参加している。外部専門家への相談窓口を持っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		衛生管理者を選任し、届出している。衛生委員会を毎月開催し、産業医とも連携し、労働安全衛生管理に取り組んでいる。施設建設時に1年間かけて職員と設計士との話し合いの場を設け働きやすい環境整備に努めている。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		正職員と非正規職員との間で不合理な待遇差を無くすため、同一賃金同一労働ガイドラインに沿った体制を法人職員で精査、整備している。正規、非正規に関わらず、有給休暇が取得し易い職場環境をつくっている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		職業家庭両立推進者を選任している。ユニット毎に勤務形態を変えるなど、勤務形態を自分に合うように多様化している。残業の定期的なチェックを行っている。産前産後休暇、男性職員も含む育児休暇、介護休暇の取得を推奨し、休暇が明けても職員自身が希望する勤務形態で勤務できるようにしている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		内外での研修を用いて職員の教育を行っている。専門性を生かした内容などアウトプットする場を作りスキルアップ出来るようにしている。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		法定の健康診断を行う他、全職員にストレスチェックを実施している。また独自の健康状態チェックシートを用いて心身の不調を訴える職員には面談等を実施している。明るく見晴らしの良い職員食堂やカフェで寛げるように配慮している。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		性別・年齢・障害の有無にこだわらない採用を実施している。また障害者雇用に関しては法定雇用率達成を維持している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	必要に応じて時差出勤、ウェブ会議を取り入れている。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	ICT導入推進のためにSEを雇用し、業務効率化に取り組んでいる。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリス　新規　事業者名：社会福祉法人　慈光会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

基本項目記入数　25　　チャレンジ項目記入数　15

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物等の処理について専門業者に業務委託している。残飯や廃油はリサイクル化を徹底している。残飯のチェックなど、フードロスへの解消に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		施設内の空調機器をはじめとして節電に取り組んでいる。床空調設備による効率的な暖房システムの取入れ。外構の森林化を行い、環境への配慮と共に冷房調整へ役立てている。毎月の電力使用量を検針明細で把握している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		施設内照明のLED化、定期的な空調機フィルターの清掃等を行い、消費電力を削減している。肥後銀行のゼロカーボンシステム（炭削くん）を使用し、自社の二酸化炭素排出量を算定・可視化している。毎月の電力使用量は検針明細で把握している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		事業や従業員の活動においてレジ袋等の使用削減に取り組んでいる。外構の森林化により、鳥など様々な生物にとって住みよい環境を構築している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		裏紙の使用を徹底している。会議の資料や記録などのペーパーレス化が進んでいる。その他ペーパーレス化できるものについては積極的に検討しており、給与明細の電子化を行っている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		外構には井水を、トイレには雨水を使用し、水資源の保全に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		再生紙やリサイクルトナーを使用している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	食品ロスが出ないように献立作成と食材発注を計画的に行っている。残飯のチェック、記録を行っている。売店の商品に関しては賞味期限が近いものは安く提供してロスの無いようにしている。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	敷地内の様々なところに緑があり保全に取り組んでいる。外構緑化は森林化している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	床空調システムやPC作業時間及び通信機器の使用時間を削減する為、AI機能搭載の機器やインカムを導入している。また、当施設では雨水をトイレにおいて使用している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	施設外構の森林化に取り組み、樹木にネームプレートを付け、バリアフリーの遊歩道を使って子どもたちが樹木に関して学べる場としている。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	施設内カフェにて提供するストローを紙製のものに切り替えるなど、プラスチック削減に取り組んでいる。カフェで使用するテイクアウト用カップは、マイカップを推奨している。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリス　新規　事業者名：社会福祉法人　慈光会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

基本項目記入数　25　　チャレンジ項目記入数　15

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		安全・安心な福祉サービス提供のために職員研修を実施し、サービスの質を確保している。介護機器を導入している。リスクマネジメント委員会を設置し安全性を検証検証している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		施設の特質上すべてがユニバーサルデザインであるが、一般者のトイレにもオストメイトやベビーベッドを設置し、県の「おでかけ安心トイレ」協力施設に登録している。すべてのトイレの手すりやスロープ、バリアフリーの遊歩道、誰もが休める東屋等を設置している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	益城町にある神社や公園を活用し、健康づくり推進活動としての健康運動教室を開催したり、多世代コミュニティ構築活動の一環として、マルシェや防災イベント等を行っている。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	県産木材を使用した施設を所有するなど、木のぬくもりが感じられる施設づくりをしている。							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	多様化する社会課題解決に向けて、よろず相談所としての機能を有する事業を実施している。地域住民とのワークショップを開催し、問題発掘にも力を入れている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		地域の伝統行事の祭典を自治会と連携して計画を実施している。自治会をNPO法人化し、地域コミュニティ活動の企画を実施している。健康づくり→美ウォーキングの取り組みなど、コミュニティ活動を主体に、法人ホールを活用した地域活動を実施している。子供の寺子屋実施（そろばん・習字）やダンス教室、地域住民と中学生の神社清掃活動を実施するなど幅広くの交流や活動を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		全施設平屋設計（一部2階あり）で、停電時にも安心して移動できるなど、災害時に強い施設作りをしている。ハザードマップは見やすい場所に設置している。行動計画を策定し、定期的に訓練を行っている。非常食を保管している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	災害時に地域住民の避難場所としての施設開放や、福祉避難所としての受入体制を構築している。自治会をNPO法人化し、地域コミュニティ活動を企画実施し、その中で地域住民との防災訓練を実施するなど、防災活動を一緒に行っている。災害派遣マニュアルを策定し、他施設への災害派遣を行っている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	「持続可能な開発目標」を座標軸に、若い人が住み続けたい、高齢者が安心出来る地域づくりに積極的に取り組んでいる。具体的には、住民の意見をまとめた分析シートの作成→都市計画と福祉を絡めたコミュニティ作り→多世代交流・健康づくり・防災と減災など、当施設がリーダーシップを取って行ってきたことを、地域住民が主体となって進めていけるようにNPO法人を設立し、事務局、アドバイザー、プロデューサーとして支援を行っている。今後も、福祉施設として弱者に寄り添える「誰一人取り残さない」というSDGsの理念のもと様々な取り組みを行っていく。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	各教育機関からの実習生を積極的に受け入れている。熊本の大学見学会および学習会の実施・そろばんや習字の寺子屋実施・ダンス教室の実施・学童保育への出張ダンス教室・職場体験の受け入れなど、地域の子どもたちへの学びの場を提供している。環境共生学科との地域再生プロジェクトなど、大学生と学習のコラボ実施している。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	新卒求人においては、地元就職応援シートを使用して県内者の就職を促進している。地域の子供たちへの益城町の魅力発信の企画を行っている。熊本の大学と、キャンパス散策、学習や実験の場の提供を学生や講師と企画、授業の一環を施設で実施するなどのコラボを行い、地元への就職に取り組んでいる。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17
			25	25																		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。